



のびのび若っ子

もう一つのWSCリレー

校長 池田 千穂

10月22日、令和4年度WSC(若小スポーツスマイルカップ)を無事に終えることができました。「みんな心は一つ」のスローガンのもと、一生懸命に取り組む子どもたちの姿にたくさんの応援をいただき、心より感謝申し上げます。当日ご招待できず、心苦しく思っておりました地域の皆様にも、登下校の際には励ましの声をたくさんいただいたことを子ども達が話してくれました。あたたかいご支援をいつもありがとうございます。

10月26日(水)、「スーパーサブリレー」が中休みに開催されました。WSC当日、選手として出場できなくても、リレーの練習を一緒に頑張ってきた子ども達のリレーです。他校にはない素晴らしいプログラムだと思います。校庭に出て来たたくさんの子ども達もWSC当日のリレーに負けないくらい全力で応援していました。WSCでは白組が勝ちましたが、スーパーサブリレーは、各色1チームずつでバトンを繋ぎ、赤組が勝ちました。ウニングランは両チームとも子ども達の清々しい笑顔が輝いていました。



スーパーサブといえば、ゴンこと中山雅史選手を思い出します。スタメンではないけれど、試合の勝負どころで投入されるスーパーサブは試合の流れを変えて、得点のチャンスを作ります。彼の最後まで、あきらめない熱いプレーやゴンゴールには何度も感動しました。中山選手は、度々、途中出場し「切り札」としてチームに貢献しました。プレーやゴールで観客を魅了し、「スーパーサブ」としてスターになった選手です。スーパーサブリレーは、努力することで得られるものは、中山選手のように、人それぞれ違うことを教えてくれます。

それから、「あの時、みんなが応援してくれた。」「選手じゃなくてもがんばってよかった。」応援する側の子ども達も「リレー選手と一緒に頑張ってたんだな。」「自分と一緒に練習してきた友達の活躍は嬉しい。」など様々な気持ちを抱いたと思います。こういう経験をした子ども達は、結果だけではなく、そこまでの努力を認めることができると思います。またこの先、他の人が気付かない友達の良さに気付くことのできる、友達のことを素直に認めたり、応援したり、励ましたりできる、そんなあたたかい人になってくれることと思います。本校教育目標「自他共に大切にすることを育む」に繋がっています。また、結果だけではなく、子ども達ががんばったことは、認めていきます。それは「意欲的な学びの芽」になるでしょう。これからも私たち教職員一同、子ども達の一人一人の頑張りを認め、励まし、支援してまいります。皆様方のご支援も引き続きよろしく願いいたします。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切にすることを育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』